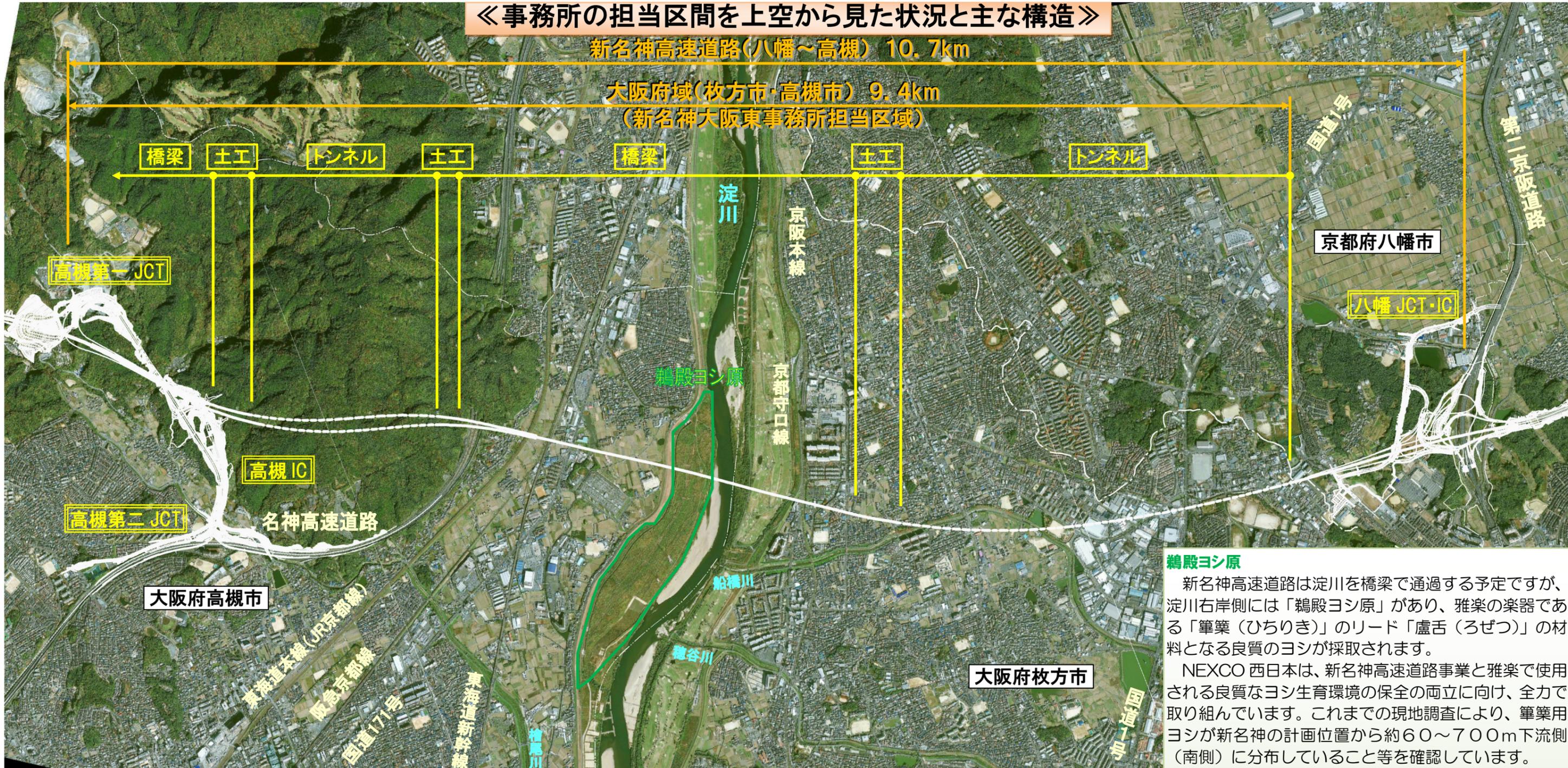


《事務所の担当区間を上空から見た状況と主な構造》



鶺鴒ヨシ原
 新名神高速道路は淀川を橋梁で通過する予定ですが、淀川右岸側には「鶺鴒ヨシ原」があり、雅楽の楽器である「箏（ひちりき）」のリード「盧舌（ろぜつ）」の材料となる良質のヨシが採取されます。
 NEXCO 西日本は、新名神高速道路事業と雅楽で使用する良質なヨシ生育環境の保全の両立に向け、全力で取り組んでいます。これまでの現地調査により、箏用ヨシが新名神の計画位置から約60～700m下流側（南側）に分布していること等を確認しています。

鶺鴒ヨシ原の環境保全の取り組みは弊社 HP でも紹介しています。
http://corp.w-nexco.co.jp/activity/const_bus/progress/individual/31/#udono-yoshihara

新名神に求められる役割

- 大都市間のネットワーク強化**
 新名神・新東名により、関西圏・中部圏・首都圏の主要都市とのネットワークが充実・強化され、国土軸として高いサービスレベルを確保します。
- 巨大地震・豪雨などの災害に対する対応**
 大都市間を結ぶネットワークは、災害や事故などの時にも機能するよう、多重化が必要です。新名神は名神と一体となり、ネットワークの多重化を形成します。
- 老朽化に対する対応**
 日本初の高速道路である名神は、開通後50年が経過し、大規模更新・修繕が必要な状態です。新名神が代替路となり、名神の老朽化対応が可能になります。

